

(公社) 全日本鍼灸学会東北支部通信 vol.1

第 33 回 (公社) 全日本鍼灸学会東北支部学術集会が、7月10日(日)に東北大学医学部星陵キャンパスにて開催されました。大会テーマである『美しき日本、そして東北 - 日本から世界に発信する鍼灸と東北の未来 -』のもと、49名の参加がありました。

●特別講演 1

「被災者に対する鍼灸治療について」では、今井賢治先生(帝京平成大学ヒューマンケア学部 鍼灸学科教授)が東日本大震災や熊本地震災害についての NPO 法人 AMDA^{※1}での支援活動を通じて、避難所における鍼灸師の活動状況や現場で求められていることなどを講演いただきました。

●特別講演 2

「災害鍼灸の有用性をその作用機序から考察する」と題し、高橋徳先生(ウィスコンシン医科大学 教授、統合医療クリニック徳 院長)にご講演頂きました。鍼灸の治効機序に関し西洋医学的観点から解説していただき、災害時の鍼灸の有用性についてもご説明して頂きました。

●学生発表及び一般口演

午後からは学生発表が行なわれ、その後一般口演が行なわれました。赤門鍼灸柔整専門学校からは「施術環境の変化が鍼刺激に及ぼす影響」について鳥山茂樹さんが、盛岡医療福祉専門学校からは「黄帝内経から読み解く情動と疾患の考察」を若松剛正さん、井上貴奈さん、大沢英士さんが、福島医療専門学校からは「鍼は痛い?お灸は熱い?~一般に鍼灸は地域にどの程度浸透しているか」を河野弘樹さんが発表しました。また一般口演からは5題の発表がありました。

集会を通じて、聴講者から活発な質問が飛び交い大盛会となりました。名残惜しい雰囲気の中、参加者全員で集合写真を撮影し、終了しました。

参加者からのアンケートでは集会の内容、雰囲気について、「レベルが高くとても勉強になった。」や、「運営側の熱意が伝わってきて良かった。」など、好評のご意見を多数頂きました

※1 特定非営利活動法人アムダ (AMDA): NGO・国際医療ボランティア組織。アジア、アフリカ、中南米において戦争・自然災害・貧困等により社会的・経済的に恵まれず、社会から取り残されている人々への医療救済と、生活状態改善のための支援を実施している。



本集会から東北支部長を務められる中沢先生。支部長挨拶の様子。



特別講演 1 で今井先生から AMDA での貴重な経験をご講演下さいました。



特別講演 2 では高橋徳先生から鍼灸の作用機序を興味深く説明して頂きました。



学生発表の様子 (盛岡医療福祉専門学校 左から若松さん、大沢さん、井上さん)



最後は参加者全員で集合写真を撮影し、大盛会の中で終了しました。



新規会員となられた青森県の竹田里香さんにもご参加頂きました!